

科目名	学外実習 Advanced Factory Training	科目コード	A0250
-----	-----------------------------------	-------	-------

学科名・学年	全専攻・1年（プログラム3年）
担当教員	専攻主任・学科長・（専攻科長）
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	前期，90時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他90】
教科書	
補助教材	学外実習の手引，ガイダンス資料
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

夏季休暇中に企業の生産・研究部門，公立の試験研究機関または大学等において，専攻分野に関連したテーマについて研修する。特に，製品化・実用化を目指した技術開発を体験することにより，研究の実践を定着させることを目標とする。学外実習の成果は，実習終了後の成果報告会にて発表する。

○関連する科目：企業実習（本科4年次履修、選択），地域産業と技術（専攻科1年次履修），特別研究（専攻科2年次履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①企業活動の実際を理解し，職業意識を身につけるとともに，技術者倫理について理解する。	80%	(F1)
②企業実習の経験を発表・討論できる。	20%	(F2)

【C. 履修上の注意】

企業の社内規律や就業規則などの諸規則を守り，また企業の実習責任者の指示に従い，細心の注意を払って安全作業に心がけること。実習先では，社会人として良識を持って行動すること。実際の企業で就業体験を積むことは，将来の進路を考える上でよい経験となるので，積極的に取り組むことが必要である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。XX点以上を合格とする。

- 企業実習責任者から提出される実習評価レポート（80%）
- その他（20%）【報告会における発表】

【E. 授業計画・内容】

- ・夏期休業中に2週間以上にわたり90時間以上実施する。
(2週間10日では80時間しか確保できないため、残りの10時間分は学外実習ガイダンスへの参加、実習報告会への参加・報告、報告書作成で補充する。)
- ・学外実習ガイダンスには必ず出席し、実習手続きや実習における注意事項などを理解する。
- ・学外実習者は、必ず傷害保険に加入する。
- ・実習機関には実習責任者を経て下記の書類を提出する。
 - (1) 学外実習申込書
 - (2) 誓約書
 - (3) 専攻科学外実習証明書
 - (4) 実習機関が必要とする書類
- ・実習終了後には、定められた期日までに指定された次の書類を、指導教員を経て学外実習実施責任者に提出する。
 - (1) 専攻科学外実習証明書
 - (2) 専攻科学外実習報告書
 - (3) 学外実習日誌
- ・専攻毎（または学科毎）に実施される報告会において発表を行う。